

2学期を終えるにあたって、思う

校長 吉田 健太

「みんな、ほんとうによくがんばった」

まず、その言葉を、2学期を終えるにあたり、みなさんと共有したいです。

新任校長として姫島小学校に着任していきなりの入学式延期・学校休業。児童のみなさんがいない静かな校舎から、私の姫島小学校での生活が始まりました。1学期の行事はおおむね中止か延期。分散登校というこれまで経験したことのないかたちから徐々に再開へと進み、ようやく6月第3週に通常授業の再開と入学式実施にたどり着きました。ほんとうにホッとしたことを覚えています。そこから感染拡大防止策に、日々、気を配りながら授業と行事を進め、8月第1週までの1学期を暑さにうだりながら終えました。

いつもよりずいぶんと短い夏休みがあっという間に終わったかと思うと、2学期は、感染拡大防止策をつづけながら、授業と共に、さまざまな行事を進めていきました。「いつもと同じ」という選択がないでたいへんです。それでも、1つ1つの行事でよい経験を重ねることができたと思います。運動会・林間学習・修学旅行・作品展、等々。その準備。その他、さまざまな行事や取組。

2学期を終えるにあたって、あらためて振り返って考えてみたり、学校ホームページの記事を読み返してみたりすると、「よくがんばった」という思いが自然にわきおこります。児童のみなさんはもちろん、先生たちも、保護者や地域の皆様も、（そう言ってもらえるなら）私も。それたくさん不安を抱える中で、ほんとうによくがんばって学校生活を送り、教育活動を進め、学校を支えていただいたと思います。

まだまだコロナ禍はつづきそうですが、ひとまずここで、互いに大きな拍手でねぎらおうではありませんか。「みんな、ほんとうによくがんばった。」心から共有できる思いではないでしょうか。

姫島小学校の伝統ある教育目標は、「強い子」の育成です。「強い子」と刻まれた正門横の石碑を見るたびに力づけられます。コロナ禍に振り回される今年度はまだ3学期も継続しますが、1月になり新年を迎えます。気持ちも新たに力強く教育活動を推進できますように。そして、「強い子」たちを育てられますように。強い気持ちで願ってやみません。